

## N T S 2010年ブロックトレーニング実施要項

1. 目的 若年層の運動能力の高い意欲のあるプレーヤーを早期に発掘し、将来、世界で活躍できる可能性を持ったクリエイティブな日本代表プレーヤーに育成する。統一された指導方法に基づいた一貫指導を実施し、指導者レベル向上をはかる。
2. 主催 (財)日本ハンドボール協会
3. 主管 開催ブロックハンドボール協会 開催都道府県ハンドボール協会
4. 開催日 7月から9月末日(日本協会の日程を考慮すること)
5. 会場 各ブロックに一任(コート3面開催が望ましい)
6. 参加対象者 各都道府県協会より推薦された選手、N T S 委員より推薦された選手  
上記の推薦された選手の指導者、  
各都道府県の参加者枠を各カテゴリー3名とする。(年齢別強化指定選手は別枠)  
年齢別強化指定選手は必ずブロックトレーニングへ参加させること
7. 選手推薦基準 N T S 推薦基準により各都道府県に一任
8. 宿泊 高校生と対象指導者に原則上限(7,350円)を日本協会負担  
小・中学生の宿泊は原則しないこと
9. 交通費 推薦された選手とその対象指導者に旅費基準により交通費を片道支給  
指導者は推薦された選手のチームにつき1名、引率父母等是不支給  
**都道府県NTS運営委員・技術指導委員の1名に旅費基準により交通費を支給**  
**ブロック運営委員・ブロック技術指導委員・インストラクターは旅費基準により交通費を支給**
10. 傷害保険 傷害保険は日本協会にて一括加入(名簿・フリカナの提出、生年月日が必須)
11. 開催費用 日本協会の負担(経費基準を参照)
12. 公文書 選手・指導者には日本ハンドボール協会会長名にて『参加依頼書』を作成  
開催地協会より発送  
『開催お願い』文書は日本協会より送付
13. 承諾書 参加選手・指導者から参加承諾書をもらうことが望ましい
14. 昼食 選手・引率指導者は自己負担、運営関係者は日本協会より負担(経費基準を参照)
15. 備品 開催地が用意する
16. 指導内容 指導内容とタイムスケジュールはブロック技術指導委員とブロック運営委員及び開催地協会と打合せにより作成
17. その他 不明な点については日本協会とブロック運営委員長と開催都道府県協会の打合せにより決定